

# 研究公開文書

2023 年 12 月 27 日

<b>研 究 名</b>	健常者および前十字靭帯再建術後の患者における Hamstrings/Quadriceps ratio の検討
<b>研 究 の 概 要</b>	<p>Hamstrings/Quadriceps ratio (H/Q 比) は、大腿四頭筋に対するハムストリングスの筋力の割合を示しており、障害予防や前十字靭帯再建術 (ACLR) 後の競技復帰の指標になる。大腿四頭筋は脛骨の前方引き出しを制御するのに対し、ハムストリングスは脛骨の前方引き出しを抑制する働きがある。これらの筋は、膝関節の過伸展を防止し膝関節の安定性に寄与するが、協調性が低下することで傷害誘発のリスクとなる。</p> <p>H/Q 比の基準値として、等尺性筋力は障害予防では 60.0%、ACL 損傷者では 50.0-80.0%と報告されている。また、等尺性筋力では膝関節屈曲 90° での H/Q 比は 50.0%程度と報告されており、一定の見解を得られていない。H/Q 比の基準値が曖昧では、競技復帰時に再損傷リスクが高くなる可能性がある。</p> <p>そこで本研究の目的を、健常者および ACLR 患者における等尺性膝関節伸展筋力、屈曲筋力および H/Q 比を検討することとした。</p>
<b>研 究 対 象</b>	対象は小倫2023-12号で対象となっている膝前十字靭帯再建術を施行した患者および膝関節に既往のない健常者とする。

<b>研究責任者</b>	小田原市立病院リハビリテーション室理学療法士 平田萌々花
<b>研究実施期間</b>	倫理委員会承認後～2028年3月
<b>連絡先</b>	小田原市久野46番地 小田原市立病院 0465-34-3175